

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成26年8月7日 (2014.8.7)

【公開番号】特開2013-159341 (P2013-159341A)
 【公開日】平成25年8月19日 (2013.8.19)
 【年通号数】公開・登録公報2013-044
 【出願番号】特願2012-19777 (P2012-19777)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 81/113 (2006.01)

B 6 5 D 85/68 (2006.01)

B 6 5 D 75/14 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 81/06 A

B 6 5 D 85/68 F

B 6 5 D 75/14

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月20日 (2014.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の空気調和機の包装体は、被包装体の両端部を保持する緩衝材と、複数の折り曲げ部が幅方向全体に亘って形成されており、前記緩衝材の外周に沿って前記折り曲げ部が折り曲げられることで前記被包装体および前記緩衝材を覆う外装用スリーブ状段ボールと、を備え、前記外装用スリーブ状段ボールには、前記被包装体および前記緩衝材を覆った際に、前記被包装体と対向する位置に前記外装用スリーブ状段ボールの変形を促す座屈誘導部が幅方向に形成されているものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被包装体の両端部を保持する緩衝材と、

複数の折り曲げ部が幅方向全体に亘って形成されており、前記緩衝材の外周に沿って前記折り曲げ部が折り曲げられることで前記被包装体および前記緩衝材を覆う外装用スリーブ状段ボールと、を備え、

前記外装用スリーブ状段ボールには、

前記被包装体および前記緩衝材を覆った際に、前記被包装体と対向する位置に前記外装用スリーブ状段ボールの変形を促す座屈誘導部が幅方向に形成されている

ことを特徴とする空気調和機の包装体。

【請求項 2】

前記緩衝材には、

前記外装用スリーブ状段ボールが前記被包装体および前記緩衝材を覆った状態で前記座屈誘導部と当接する突起が設けられている

ことを特徴とする請求項 1 に記載の空気調和機の包装体。

【請求項 3】

前記座屈誘導部は、

前記折り曲げ部で構成される

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の空気調和機の包装体。

【請求項 4】

前記座屈誘導部は、

前記折り曲げ部とミシン線とを組み合わせられて構成される

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の空気調和機の包装体。

【請求項 5】

前記折り曲げ部は、

罫線又は裏ライナー線で構成される

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の空気調和機の包装体。

【請求項 6】

前記座屈誘導部の両端部のそれぞれを切り欠いて前記緩衝材の外周の一部を露出させる切欠部が、前記外装用スリーブ状段ボールの前記緩衝材側の側面に形成されている

ことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の空気調和機の包装体。

【請求項 7】

前記切欠部は、三角形状に形成されている

ことを特徴とする請求項 6 に記載の空気調和機の包装体。

【請求項 8】

前記切欠部は、台形状に形成されている

ことを特徴とする請求項 6 に記載の空気調和機の包装体。